

## 平成21年10月期 第2四半期決算短信

平成21年6月10日

上場会社名 ナトコ株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 粕谷忠晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 粕谷健次

TEL 0561-32-2285

四半期報告書提出予定日 平成21年6月12日

配当支払開始予定日

平成21年7月10日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年10月期第2四半期の連結業績(平成20年11月1日～平成21年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第2四半期	4,650	—	△83	—	△128	—	△398	—
20年10月期第2四半期	6,467	△2.0	571	△26.4	576	△28.0	242	△39.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第2四半期	△54.38	—
20年10月期第2四半期	33.16	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年10月期第2四半期	14,068	11,339	77.5	1,488.79
20年10月期	15,864	11,791	71.8	1,555.21

(参考) 自己資本 21年10月期第2四半期 10,904百万円 20年10月期 11,390百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	—	9.00	—	8.00	17.00
21年10月期	—	6.00	—	—	—
21年10月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年10月期の連結業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,660	△25.7	△160	—	△200	—	△555	—	△75.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社 (社名 ) 除外 — 社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年10月期第2四半期 7,324,800株 20年10月期 7,324,800株

② 期末自己株式数 21年10月期第2四半期 631株 20年10月期 631株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年10月期第2四半期 7,324,169株 20年10月期第2四半期 7,324,196株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の低所得者向け（サブプライム）住宅ローン問題に端を発した世界経済の急速な減速や為替変動等の影響を受け、企業業績が悪化し、設備投資の抑制や雇用調整等の動きも顕著となり極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは顧客ニーズに即した環境対応型製品や高機能性製品の開発・拡販に取り組むとともに生産性の向上ならびにコストの低減に取り組みました。しかしながら、市場を取り巻く環境の悪化により、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,650百万円となりました。営業損益は、売上の大幅な減少の影響に加え、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）の適用による棚卸資産の評価損を45百万円計上したことにより、83百万円の営業損失となりました。経常損益は、関係会社貸付金に対する貸倒引当金繰入額を59百万円計上したことにより、128百万円の経常損失となりました。四半期純損益は、投資有価証券売却損を45百万円計上したことや繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産を153百万円取り崩したことにより、398百万円の四半期純損失となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①塗料事業

金属用塗料分野では、自動車・機械・電機等の主要産業をはじめ、殆どの金属加工産業における生産調整の影響を受けたことにより、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。また木工建材用塗料及び無機材用塗料分野におきましても、需要の減少が加速し、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。その他の分野では、価格競争によるシェア争いの激化や景気悪化による需要の減少により、シンナーの需要が伸びず、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、塗料事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は3,965百万円となりました。

#### ②ファインケミカル事業

LCD（液晶表示装置）用高分子化合物は、LCDメーカーの生産調整により需要が激減したことにより、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。化成品においても、LCD関連分野をはじめとする電子材料用コーティング材料はLCD（液晶表示装置）用高分子化合物と同様の理由により、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。また、シリコン系表面機能材料については、電子材料ほどの影響は受けなかったものの、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は612百万円となりました。

#### ③その他の事業

産業廃棄物の収集運搬におきましては、景気の急速な悪化の影響による自動車産業の大幅な減産に伴い廃液の収集量が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ大きく減少いたしました。

その結果、その他の事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は71百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,795百万円の減少となり、14,068百万円となりました。また、負債は、前連結会計年度末に比べ1,343百万円の減少となり、2,729百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ452百万円の減少となり、11,339百万円となりました。

資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が1,086百万円減少、商品及び製品が167百万円減少、投資有価証券が239百万円減少したことによるものであります。

負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が1,164百万円減少したことによるものであります。

純資産の減少の主な要因は、期末配当金の支払58百万円、四半期純損失398百万円計上したことにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,016百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、68百万円となりました。これは主に減価償却費が272百万円、売上債権の減少1,085百万円による資金の増加と仕入債務の減少1,163百万円、法人税等の税金の支払84百万円による資金の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、132百万円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入150百万円、信託受益権及び投資有価証券の売却による収入1,102百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出314百万円、信託受益権及び投資有価証券の取得による支出800百万円による資金の減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、58百万円となりました。これは配当金の支払58百万円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、主要取引先の生産調整などの回復時期を見通すことが困難な状況であり、経済の先行きは不透明感が強く、厳しい経営環境が継続するものと想定しております。

なお、第2四半期連結累計期間における業績等の推移を勘案し、平成21年10月期の連結業績予想について平成21年6月5日に修正発表しております。当該予想に関する詳細は、平成21年6月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ②固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を採用しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## ①四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、第1四半期連結会計期間（平成20年11月1日から平成21年1月31日まで）から、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

## ②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ45,240千円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,021,258	4,031,797
受取手形及び売掛金	2,706,967	3,793,222
商品及び製品	604,163	771,516
仕掛品	29,302	62,066
原材料及び貯蔵品	274,304	338,551
繰延税金資産	37,720	111,020
その他	538,144	600,498
貸倒引当金	△4,927	△7,096
流動資産合計	8,206,934	9,701,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,934,808	2,015,268
機械装置及び運搬具（純額）	862,517	953,975
土地	1,713,470	1,713,470
その他（純額）	448,162	218,292
有形固定資産合計	4,958,958	4,901,007
無形固定資産		
投資その他の資産	136,895	114,140
投資有価証券	520,479	759,501
繰延税金資産	6,099	75,105
その他	304,966	319,286
貸倒引当金	△65,336	△5,672
投資その他の資産合計	766,208	1,148,220
固定資産合計	5,862,062	6,163,368
資産合計	14,068,996	15,864,945
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,573,421	2,738,202
未払法人税等	31,322	90,870
賞与引当金	169,761	216,015
役員賞与引当金	1,900	28,950
その他	544,809	651,844
流動負債合計	2,321,214	3,725,883

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	68,161	43,527
役員退職慰労引当金	172,005	183,405
繰延税金負債	44,813	—
その他	122,991	120,230
固定負債合計	407,970	347,163
<b>負債合計</b>	<b>2,729,185</b>	<b>4,073,046</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	2,288,760	2,288,760
利益剰余金	7,015,848	7,472,744
自己株式	△2,427	△2,427
株主資本合計	10,928,521	11,385,417
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	△60,018	△32,057
為替換算調整勘定	35,646	37,243
評価・換算差額等合計	△24,371	5,185
少数株主持分	435,661	401,295
純資産合計	11,339,810	11,791,898
<b>負債純資産合計</b>	<b>14,068,996</b>	<b>15,864,945</b>

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)
売上高	4,650,515
売上原価	3,783,989
売上総利益	866,526
販売費及び一般管理費	950,087
営業損失(△)	△83,561
営業外収益	
受取利息	6,946
受取配当金	3,470
投資有価証券評価益	3,544
その他	12,857
営業外収益合計	26,818
営業外費用	
支払利息	185
売上割引	9,155
為替差損	2,189
貸倒引当金繰入額	59,980
その他	0
営業外費用合計	71,511
経常損失(△)	△128,254
特別利益	
貸倒引当金戻入額	348
固定資産売却益	9
投資有価証券売却益	2,280
特別利益合計	2,638
特別損失	
固定資産処分損	7,668
投資有価証券評価損	999
投資有価証券売却損	45,077
その他	749
特別損失合計	54,495
税金等調整前四半期純損失(△)	△180,111
法人税、住民税及び事業税	25,077
法人税等調整額	158,397
法人税等合計	183,475
少数株主利益	34,715
四半期純損失(△)	△398,302

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△180,111
減価償却費	272,318
貸倒引当金の増減額(△は減少)	57,494
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,633
受取利息及び受取配当金	△10,416
支払利息	185
投資有価証券売却損益(△は益)	42,797
投資有価証券評価損益(△は益)	△2,544
固定資産処分損益(△は益)	7,618
為替差損益(△は益)	2,189
固定資産売却損益(△は益)	△9
売上債権の増減額(△は増加)	1,085,968
たな卸資産の増減額(△は増加)	263,723
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,163,847
その他	△257,708
小計	142,290
利息及び配当金の受取額	10,568
利息の支払額	△185
法人税等の支払額	△84,533
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>68,138</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	150,000
有形固定資産の取得による支出	△314,421
有形固定資産の売却による収入	1,953
信託受益権の取得による支出	△800,000
信託受益権の売却による収入	902,355
無形固定資産の取得による支出	△6,210
投資有価証券の取得による支出	△669
投資有価証券の売却による収入	199,850
関係会社貸付けによる支出	△10,000
長期貸付金の回収による収入	11,268
敷金及び保証金の差入による支出	△622
敷金及び保証金の回収による収入	392
その他	△1,862
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>132,034</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△58,521
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△58,521</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,190
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	139,461
現金及び現金同等物の期首残高	3,876,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,016,258



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)

	塗料事業 (千円)	ファインケ ミカル事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,965,873	612,800	71,842	4,650,515	—	4,650,515
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	3,965,873	612,800	71,842	4,650,515	(—)	4,650,515
営業利益又は営業損失(△)	△8,293	△4,203	31,043	18,545	(102,107)	△83,561

(注) 1. 事業区分は、売上の集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品

塗料事業 合成樹脂塗料及びシンナー  
 ファインケミカル事業 LCD用高分子化合物、高機能性樹脂  
 その他の事業 廃溶剤の収集運搬

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「4. その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」②に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、当第2四半期連結累計期間の営業損失は塗料事業で2,668千円、ファインケミカル事業で42,572千円それぞれ増加しております。

4. 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

第1四半期連結会計期間より、法人税法改正に伴い、有形固定資産の一部について耐用年数の変更を行っております。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べ、営業損失が塗料事業で7,390千円増加、ファインケミカル事業で1,207千円減少しております。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		6,467,236	100.0
II 売上原価		4,776,588	73.9
売上総利益		1,690,648	26.1
III 販売費及び一般管理費		1,118,938	17.3
営業利益		571,709	8.8
IV 営業外収益			
1. 受取利息	6,388		
2. 受取配当金	6,629		
3. 仕入割引	1,316		
4. 雑収入	8,855	23,189	0.4
V 営業外費用			
1. 支払利息	284		
2. 売上割引	10,930		
3. 為替差損	6,022		
4. 雑損失	785	18,022	0.3
経常利益		576,876	8.9
VI 特別利益			
1. 固定資産売却益	98	98	0.0
VII 特別損失			
1. 固定資産処分損	2,404		
2. 投資有価証券売却損	36,855		
3. 退職給付費用	7,635	46,895	0.7
税金等調整前中間純利益		530,079	8.2
法人税、住民税及び事業税	219,937		
法人税等調整額	26,898	246,835	3.8
少数株主利益		40,351	0.6
中間純利益		242,892	3.8

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)
区分	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	530,079
減価償却費	303,838
貸倒引当金の減少額	△3,732
退職給付引当金の増減額	△17,233
受取利息及び受取配当金	△13,017
支払利息	284
投資有価証券売却損	36,855
固定資産処分損	1,852
固定資産売却益	△98
為替差損益	6,489
売上債権の増減額	278,829
たな卸資産の増減額	△51,496
仕入債務の増減額	△124,655
その他	△54,431
小計	893,563
利息及び配当金の受取額	12,853
利息の支払額	△46
法人税等の支払額	△340,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,614
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△473,267
有形固定資産の売却による収入	2,047
信託受益権の取得による支出	△900,000
信託受益権の売却による収入	902,261
無形固定資産の取得による支出	△12,600
投資有価証券の取得による支出	△71,575
投資有価証券の売却による収入	63,520
関係会社長期貸付金の回収による収入	1,668
保証金の差入による支出	△350
その他	△1,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△490,159
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△1,370
配当金の支払額	△131,198
自己株式の取得による支出	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,595
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△4,569
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	△61,710
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	4,001,403
<b>VII 現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	3,939,693

## (3) セグメント情報

## 〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日）

	塗料事業 (千円)	ファインケミ カル事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,809,774	1,560,414	97,047	6,467,236	—	6,467,236
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	4,809,774	1,560,414	97,047	6,467,236	(—)	6,467,236
営業費用	4,646,581	1,054,447	54,506	5,755,535	139,991	5,895,527
営業利益	163,193	505,967	42,540	711,701	(139,991)	571,709

- (注) 1. 事業区分は、売上の集計区分によっております。  
 2. 各事業の主要な製品  
     塗料事業                    合成樹脂塗料及びシンナー  
     ファインケミカル事業      LCD用高分子化合物、高機能性樹脂  
     その他の事業              廃溶剤の収集運搬  
 3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は139,991千円であり、その  
 主なものは、親会社の総務・経理等の管理部門に係る費用であります。  
 4. 追加情報

「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載のとおり、当中間連結会計期間より、法人税法改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べて、「塗料事業」「ファインケミカル事業」「その他の事業」「消去又は全社」の減価償却費はそれぞれ21,351千円、3,953千円、2千円、220千円増加し、営業利益が同額減少しております。

## 〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	1,205,083	3,965	1,209,048
II 連結売上高 (千円)			6,467,236
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合 (%)	18.6	0.1	18.7

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
     (1) アジア……………韓国、台湾、中国、インドネシア等  
     (2) その他の地域……アメリカ等

## 6. その他の情報

## 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年4月30日）

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)
塗料事業（千円）	3,965,873
金属用塗料（千円）	1,593,785
木工建材用塗料（千円）	936,316
無機材用塗料（千円）	860,545
その他（千円）	575,226
ファインケミカル事業（千円）	612,800
その他の事業（千円）	71,842
合計（千円）	4,650,515

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。